

平成 30 年 9 月 26 日

各 位

組合名 宮城県漁業協同組合
代表者名 代表理事理事長
問合せ先 理 事 内 海 哲 夫
(Tel. 0225-21-5711(代))

平成 30 年 3 月期における信用事業強化計画の履行状況について

当組合は、「農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律」に基づき、今般、平成 30 年 3 月期の信用事業強化計画の履行状況を下記の通りとりまとめましたので、お知らせいたします。

当組合は、今後も信用事業強化計画を着実に実行することにより、水産業者をはじめとする組合員・利用者の利便性維持・向上に努め、地域漁業・経済の一日も早い復旧・復興に向けて取り組んでまいります。

記

<履行状況の概要>

1 水産業者に対する信用供与の実施体制の整備

(1) 事業本部制による復興支援体制の強化

当組合は、平成 25 年 4 月の事業本部制導入に際し、信用事業に係る人材を総合支所に集中配置し、組合員・利用者のニーズに対して効率的かつ的確に対応する体制を構築しております。加えて、平成 28 年 4 月には従来の総合支所を再編し、北部・中部・南部それぞれに①金融・経済・地域の 3 つのセンターを配置し、②平成 30 年度より「経営統括部」を新設し、経営管理、リスクマネジメントに関する事項全般を所管することで、各部署との情報連携のもと、当組合の統合的なリスク管理を行うこととしております。

(2) 漁業金融相談員の配置による融資相談体制の強化

当組合では、地域のコンサルティング機能の中核として復旧・復興の進捗にあわせた融資相談機能を提供する職員「漁業金融相談員」の養成に取り組んでおります。現在、10 名が各地区に配置され、借入申込時から事業計画・償還計画等の相談を実施し、組合員・利用者の復興支援に取り組んでおります。今後も引き続き相談機能をいっそう強化して参ります。

2 具体的な取組方策

(1) 東日本大震災の被災者への信用供与の対応状況

＜震災以降～平成 30 年 3 月末＞

	件 数	金 額
貸付条件の変更	93 件	2,793 百万円
新規融資	2,004 件	30,056 百万円

(2) 漁業再開に向けた枠組み整備・公的支援活用サポート

漁業の早期再開と経営安定化に資する取り組みとして、漁業再開に当面必要な経費（施設等借上費、養殖作業費、資材費等）について国から助成が受けられる「がんばる漁業復興支援事業」、「がんばる養殖復興支援事業」制度の活用に向けて、組合員の状況に応じた活用の推進・提案や円滑な実施のためNPO法人水産業・漁村活性化推進機構等との連携を強化して取り組みました。

【事例】

当組合においては復興対策室を進捗管理部署として組合員の漁業再開などをサポートいたしました。平成 27 年度までに半数以上のグループについて事業が終了し、生産基盤の復旧や漁業の早期再開に大きく寄与し、魚種によっては震災前と同等以上の水揚量まで復旧いたしました。

漁業再開だけでなく、その再開により二次的な関連産業などの事業も活発化し、さらに生産誘発効果などを生み出すものとなりました。

(3) 漁家経営安定に資する取り組み

既存の「漁業経営セーフティーネット構築事業」やこれを拡充・強化する形で措置された「漁業用燃油特別対策」、さらには燃油消費量そのものを削減する取り組みに対して支援を受けられる「効率的な操業体制の確立支援事業」について、関係機関と連携してこれまで加入推進を実施し、漁業経営セーフティーネット構築事業の契約者数は平成 30 年 5 月末現在で計 381 名となっております。このうち 125 名が漁業用燃油特別対策並びに効率的な操業体制の確立支援事業を活用しております。また、「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」の活用を支援し、同月末現在で組合員 242 名が使用漁船への省エネ型推進機関等の導入について計画の承認を受けております。

(4) 水産物のブランド回復等に向けた取り組み

宮城県産水産物の出荷量が徐々に回復する中、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害対策等の対応を進めてまいりました。県産ブランドの要である安心・安全な水産物の提供を担保するための取り組みとして、放射性物質にかかる検査体制の充実を図ることに加えて、各種の販売促進を継続して実施しました。

【事例】

当県産水産物は一部の国でなお禁輸措置を受けており、とくに当県が全国の生産の8割を占め、海外に多くが輸出されていたホヤは、その大きな影響を受けております。

輸出先を失ったホヤについて国内での消費を喚起すべく行政等と連携して多方面でプロモーション活動を実施しております。

平成30年5月に国内での消費拡大、周知を目的として宮城県仙台市内にて「ほや祭り 2018」が開催され、地元の飲食店や水産加工会社などが出店し、様々なホヤ料理を提供しました。当日の来場者は1万人を超え、多くの来場客で賑わいました。

※ 履行状況の詳細については、別紙「信用事業強化計画の履行状況報告書(平成30年6月)」をご覧ください。

以 上